

熊本地震 救援ニュース

全国保険医団体連合会

震災の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

最大震度7の地震、救援、復旧が急務

7 月 28 日 16 時 27 分、熊本県を中心に最大震度 7、マグニチュード 7.1 の大規模地震が発生しました。熊本では、10 年前の 2016 年 4 月にも最大震度 7、マグニチュード 7.3 の大きな地震が起きており、復興が進められている中で再びの被災となりました。

保団連は地震発生直後から、熊本協会をはじめ揺れの大きかった県の各保険医協会に連絡。協会事務局と協会機能の無事を確認しました。

今後は、各県の会員医療機関の被害状況の把握と、診療機能や経営の復旧、継続のための支援が課題になります。

「災害対策本部会議」開く

保団連は「熊本地震災害対策本部」を立ち上げ、8 月 5 日、第 1 回会議を開きました。熊本協会の橋本洋一郎会長をはじめ、秋月美和、本庄弘次、松本武敏各副会長、関雅文事務局長にご出席いただき、被災状況を報告いただくとともに、当面の対応を協議しました。

保団連の竹田智雄会長は、「保団連として全面的に支援していく」と強調。

熊本協会の橋本会長は、「早々に会議をもつていただき感謝する」としたうえで、「10 年前の経験を踏まえて医療機能の被害は最小限だが、暑さが続く中で今後被災者の健康、とりわけ循環器疾患が増えるのではないかと懸念される」と述べました。

また「氷川町や八代市では断水の影響で水の確保の要望が大きい」（熊本・秋月副会長）、「支

援物資は届いているが被災者まで届いていないところがある」（同・本庄副会長）、「病院間の連携は取れているが、地域によっては困難な状況もある」（同・松本副会長）などの報告がありました。

医療機関の被害 県南部中心に全域で

熊本協会は、被災 2 日後から FAX を通じて被災医療機関に状況聞き取りを行い、8 月 3 日 17 時現在で 285 件から返信が寄せられました。医療機関の被害は半壊 6 件、一部損壊 183 件、自宅の被害は 129 件と報告されました。「被害は県南部が中心だが、県北、天草地域からも報告があり、全域で被害がある」（関事務局長）とのことです。

また熊本協会では 8 月 4 日、熊本市南区や八代市などの被災医療機関 7 件を訪問し、被害の状況を伺いました。



熊本市南区の歯科クリニック。診療は再開していますが、発災直後は停電と断水。院長先生も転倒し、負傷したとのことです。

